

島根県立大学短期大学部 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	島根県立大学短期大学部			設置者名	公立大学法人島根県立大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育学科	50人	幼二種免	平成19年度	53人	52人	52人	8人
入学定員合計		50人	合計		53人	52人	52人	8人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成28年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成28年12月6日（火）

実地視察大学：島根県立大学短期大学部

実地視察委員：酒井朗委員，谷田増幸委員，佐々祐之委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等については、全般的に基準を満たしており、また、積極的な取組が確認された。
- ただし一部の教育課程について、「2.」で指摘するように、教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点が確認されたため、その点については、速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織を一層充実させるように努めていただきたい。具体的には、教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針の下、その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため、教職課程を専門に取り扱う委員会等の設置を検討するなど、組織的な体制の強化を図っていただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目名称があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 教職に関心のある学生が早い段階から教職の魅力や教員としての適性等を把握する観点から、「教職に関する科目」中の「教職の意義等に関する科目」の配当年次について検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の幼稚園や学生の母園における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の幼稚

園において実習先を確保することが望ましいため、今後は、地元教育委員会や幼稚園との連携を進め、近隣の幼稚園における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の幼稚園や学生の母園における実習を行う場合においても、実習先の幼稚園と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 担任制による個別指導や、実習事務室に幼稚園教諭免許状及び保育士資格を有しているティーチング・アシスタントを常駐させ随時相談可能な体制を構築するなど、きめ細やかな履修指導を行っていることが確認された。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 平成22年度より実施している「学生地域ボランティア活動推進事業」により、幼稚園、小学校、保育所、児童福祉施設、児童クラブなどで学生が2年間を通して積極的にボランティア活動を行っていることが確認された。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設については、整備・充実していることが確認された。
- 図書については、図書館とは別に「おはなしレストランライブラリー」を設置することにより、特に絵本関係について充実していることが確認されたため、今後ともより一層の充実を努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 「おはなしレストランライブラリー」を一般開放するとともに、学生による絵本の読み聞かせ会を実施するなど、大学の資源を地域へ還元している状況が確認された。今後とも、地域における幼児教育の中核的な位置として、より一層の充実を期待したい。
- 約1,500人の子どもたちを対象とした「ほいくまつり」を、全学を挙げて毎年実施することにより、各学生が表現方法について学ぶとともに、地域貢献への十分な取組が行われていることが確認された。今後ともより一層の充実を期待したい。